



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース - 介護ウェーブの "Big Wave" をおこそう! -

署名20万筆達成まで、あと35,089筆!

- 8月末まであと14日 引き続き取り組みを強化しよう! -

8月18日現在の到達 164,911筆

介護改善をめざす「沖縄介護ウェーブのつどい」開催 (沖縄民医連)

総勢302名が参加 - 民医連以外の事業所などからは118名が参加 -

8月2日(土)、沖縄民医連主催で「介護改善をめざす沖縄介護ウェーブのつどい」が開催され、民医連職員147名、組合員37名、民医連外職員118名(約62事業所+一般)の合計302名の参加で大成功に終わることができました。

この間、介護関連の研修会等で地域の事業所との交流はあるものの、県内の介護事業所が結集し介護問題を考えるということは初めての取り組みであり、民医連外の方が多数参加してくれたことはものすごく画期的なこと

です。このつどいの成功に向け、地域の介護事業所訪問、関連職能団体への申し入れ、新聞への投稿など介護職員が積極的に行動したことも要因のひとつですが、「新聞を見てきました」という方も多く、介護をめぐる状況が危機的状況にあり多くの方が関心をよせている事が伺われます。また、遠路はるばる八重山からの参加や、県職員や学校関係者の参加、聴覚障害者の参加で行政からの手話通訳導入など、主催者の予想を超える反応に一同感激をしました。



○ 基調講演で、服部氏は「現在の介護不況は官製不況だ」と指摘



講演する「服部万里子先生」

さて、集いの内容ですが、まず始めに服部万里子先生(立教大学)による「介護保険法の問題点と改善に向けて」とのテーマで基調講演が行なわれました。

適正化の名による規制強化の実態や介護現場の矛盾を様々なデータ分析を基に示し、“現在の介護不況は官製不況だ!”との先生のするどい指摘に納得。また、混合介護の導入や認定項目の削除検討の矛盾、ニーズとミスマッチした介護保険事業計画の中身など、今後国が実施しようとして

いる内容についてもぼっさりとメスを入れ、今後の動きがよく理解できたと同時に恐ろしささえ感じました。“介護保険財政は黒字であり、介護保険のお金をこれ以上他にに使わせてはいけない。介護サービスが継続できる報酬へ改善すること”等の提言も示されました。

参加者からも「とてもわかりやすい資料説明で、今までわからなかった制度の問題点や今後のきびしい見通しがみえてきた。日本という国の行く末が不安になった。」などの感想が寄せられました。

○ フロアーから「作り笑顔ではなく心からの笑顔で働きたい」と訴え



シンポジウムは、4人のパネリストが発言。沖縄県介護支援専門員協議会会長の大城則子氏から「在宅を支える立場からの制度問題」、老健かりゆしの里の介護福祉士の津波古早苗氏から「入所事業所の立場からの制度問題」、南風原町在住の宮城寛諄氏から「利用者家族の立場からの介護問題」、沖縄民医連の内間均事務局長から「民医連の医療・介護再生プラン」について報告が行われました。

その後、フロアーとの討論に移り7名の方が発言を行いました。介護事業所の収益減や職員を募集しても応募がない実態、介護認定の矛盾による車いすの貸しはがしやサービス利用制限、そして若い介護職員からの「作り笑顔ではなく心からの笑顔で働きたい」との訴えに、思わず涙を誘われました。この厳しい介護問題を打開するために、利用しやすい仕組みへ改善させること、財源の在り方を見直し国の負担を増やすこと、その為にも介護現場の職員が声をあげ世論に訴えることが重要であることが確認され充実したシンポジウムでした。

○ 続いたたたかいに

今回のつどいは、「今、介護現場や地域で起こっている介護問題について確認をし、介護改善について考える」ことを目的に開催しました。

参加者の皆さんからたくさんの感想が寄せられ、「事業所側・利用者側のそれぞれの立場からの現状問題がよくわかった」との事。そして、何よりも民医連外の職員から、「思いを共有でき勇気づけられた。課題を解決するために運動を一緒にすすめていきたい。声をあげることが必要だと感じた。また参加したい」などの連帯の感想が多く寄せられたことが大きな励みになりました。

まずは、つどいの成功で第1目標は達成できました。しかし、打ち上げ花火で終わっては何の意味もありません。引き続き、地域の介護事業所も巻き込んで制度改善に向け、取り組んでいきたいと考えています。（沖縄医療生協 城間愛子さんより）



事務局短信 新たな“介護ウェーブイメージキャラクター”が誕生

以前ご紹介しました、北海道連絡会の「ダンダン君」、山梨民医連の「介護ナミさん」、長野医療生協の「フーちゃん」に続き、「医療と福祉グループ」（東京勤医会、さくら福社会等）と、倉敷医療生協で、介護ウェーブイメージキャラクターとロゴが発表されました。ぜひ、県連、法人でキャラクターやロゴをつくり、たたかいを盛り上げていきましょう！



「医療と福祉グループ」



倉敷医療生協「介護ウェーブ」のロゴマーク



「ダンダン君」



「介護ナミさん」



「フーちゃん」

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp